中学校英語

平成31年度全国学力・学習状況調査結果 (市町村立学校)

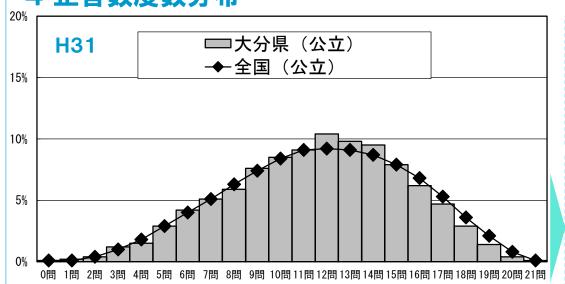
■ 結果のポイント

1 全国平均との差

県	全国	全国との差
5 5	5 6	– 1

- 〇全国平均より1P下回っている。
- 〇「記述式」の問題への対応(聞いたり読んだりしたことに対して書いて答えること)に課題がある。

4 正答数度数分布



2 領域別の結果

領域	県	全国平均
聞くこと	66.4	67.9
読むこと	55.3	55.6
書くこと	45.4	45.8

- ○全ての領域で全国正答率を下回っている。
- ○特に「聞くこと」において全国との差が大きく、情報を正確に聞き取ることや、聞いて把握した内容について適切に応じることに課題がある。

3 観点別の結果

観点	県	全国平均
外国語表現の能力	1. 7	1. 8
外国語理解の能力	43.1	44.7
言語や文化についての知識・理解	64.3	64.7

- ○全ての観点において全国正答率を下回っている。
- 〇特に「外国語理解の能力」において全国との 差が大きく、話の内容や書き手(話し手)の意 見などを捉えることに課題がある。
- 〇低学力層(正答率20%以下)の生徒の割合は 全国値(3.4%)に比べ3.3%と若干低いものの、 引き上げが課題である。
- 〇正答率80%以上の層が9.6%と、全国値(11.9%) よりも低く、全体的な引き上げが課題である。

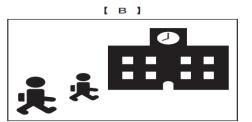
□ 課題が見られた問題と指導の改善

1 正答率が低かった問題

大問10【大分県平均正答率1.7% 全国平均正答率1.8%】 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに 注意してまとまりのある文章を書く問題。

| 10 海外のある町が、外国人旅行客にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。どちらかの案を選び、2つの案について触れながら、あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。





解答類型		県平均 正答率	全国平均 正答率
正名	答 条件:①どちらの案がよいか、1つ選んで意見を書いている。 ②選んだ理由等について、2つの案に触れながら書いている。 ③25語以上の英語で書いている。 例: "I think A is better. It shows a teacher and students in a classroom, so it looks like a school. I don't think B is good because it looks like a library. [32 words]	1.7%	1.8%
誤答例	●条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの例:・A is many people can understand of school. 【語や文法事項等の理解や記述におけるつまづきがあり、書きたいことはあるのにそれらを正しく書き表すことができていないと考えられる。】	31.7%	32.1%
	●無解答	7.6%	8.3%

指導の改善

【学習指導のポイント】

テーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるようにする。

〇与えられたテーマについてまとまりのある文章を書く際には、まずはテーマについての自分の考えを整理し、どのように書けばよりよく読み手に伝わるのかを考えながら書き表す必要がある。そのためには、テーマについて自分の考えを持つことができるようにすることや、伝えたいことを読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を正しく理解して書き表すことができるように指導することが必要である。

さらに、例えば「自分の主張→主張を支える根拠や 具体例」という構成で書くなど、文章形式を判断して 書く言語活動を行うことも大切である。

具体的な指導としては、以下の4点が考えられる。

- ·「話して書く」「読んで書く」等の領域を統合した指導 を行う。
- ・英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く 指導を行う。
- 書くことを増やすための指導を行う。
- •」, You 以外の主語を用いて書く指導を行う。

□ 課題が見られた問題と指導の改善

1 無解答率が高かった問題

大問 4 【平均正答率 大分県: 4.9% 全国: 7.6%】

【無解答率 大分県: 47.7% 全国: 42.3%】

聞いて把握した内容について、適切に応じる問題。

(来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についての アドバイスを書く問題。)

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。 メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

「聞くこと」スクリプト

中学校英語

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

解答類型	県平均 正答率	全国平均 正答率
正答 ◎ニックができる部活動についてのアドバイスを、十分理解できる英語 (大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるものを含む)で解答して いるもの 例: •You can try the judo club. • why don't you join the music club?	4.9%	7.6%
●ニックができる部活動についてのアドバイスになっていない。 例: •Enjoy Japanese culture •Sushi is the most famous in Japan. •How about speaking Japanese? •You go to school by bike. 【ニックからのメッセージの内容を聞き取ることができておらず、部活動についてのアドバイスを求められていることが理解できていないと考えられる。】	28.7%	31.1%
●無解答	47.7%	42.3%

指導の改善

【学習指導のポイント】

聞くだけにとどめずに、把握した内容について適切に応じることができるようにする。

- 〇依頼や提案などの話し手からの働き掛けに対する反応の仕方は、場面や状況、聞き手によって様々である。したがって、場面などの設定を工夫しながら、様々な活動を行わせることが大切である。指導に当たっては、「聞くこと」は目的を持って行うことが普通であり、能動的な活動であることを念りて、何を求めているか、この場面においてをのような応答がふさわしいのか考えさせ、内容を踏まえて自分の考えや意見を表現させることが重要である。また、日頃から生徒と英語でのやり取りをする中で、実際に聞いて応じる活動を積み取りをする中で、実際に聞いて応じる活動を積み重ね、体験的に身に付けさせていくことも必要である。
- ※「聞くこと」ができなかったために「書くこと」ができなかったのか、「聞くこと」はできていたが「書くこと」ができなかったのかを見極めることは、指導計画を立てたり、活動の評価を実施したりする上で不可欠な視点である。自校の生徒の実態をこの視点で分析し、指導に役立てる必要がある。